

日程

9:40-10:00

受付

10:10-10:40

開会のご挨拶

全体会

10:50-11:40

公開授業～小学部・中学部・高等部①・高等部②～

(小学部終了11:35)

11:40-13:00

昼食・休憩

(12:20～12:50)

教材ワークショップ等

13:00-14:30

分科会

14:40-16:10

講演会

16:10

閉会

講演

岐部智恵子氏 桐蔭横浜大学 教授

伸びやかに生き抜く力「レジリエンス」を自分ごとにする教育

私たちが暮らす社会の変化は目まぐるしく、一方で、人生100年時代が到来しています。予測不能な世の中に巣立つ子どもたちは、その中を生き抜いていく力が求められます。日本型終身雇用はとうに成り立たない時代の中で、子ども達が自立して充実した人生を送るために教育が果たせる役割は何でしょうか。

本講演では、「逆境から立ち直る力」と言われる心理学的概念「レジリエンス」について、研究から得られる知見を引用しながら、家庭や学校で子ども達にレジリエンスを育む関わりのヒントについて話題提供を行います。一度きりの人生を、自分らしく生き抜く力について、皆で考えていくきっかけになれば幸いです。



申し込み方法

申し込み締切：令和8年1月23日(金)

以下の①②どちらかでお申し込みください。

①2次元コードでの申し込み方法

右記2次元コードを読み取っていただき、フォームに氏名、所属等をご記入の上、お申込みください。

②申込書での申し込み方法

本校ホームページより申込書をダウンロードの上、必要事項をご記入し、メールかFAXにて下記事務局までお申し込みください。



申し込み専用フォーム
<https://forms.gle/aNXGHw2ZNqsRxSNg8>

お問い合わせ

和歌山大学教育学部附属特別支援学校
研究発表会事務局

〒641-0031
和歌山県和歌山市西小二里2丁目5番18号
TEL …073-444-1080
FAX …073-447-2597
MAIL …wft-kenkyu@ml.wakayama-u.ac.jp
HP …<https://www.pal.wakayama-u.ac.jp>

昼食について

- ・弁当（お茶付き）をご希望の方は、申込用紙にて事前にお申し込みください。
- ・弁当代（1,000円）は受付時にお支払いください。
- ・引換券をお渡しします。

アクセス・お願い

- ・本校へはホームページの地図、案内をご覧頂き、お越しく下さい。
- ・駐車スペースが少ないため、公共交通機関の利用にご協力ください。
- ・来校に際し、スリッパ・上履き等をご持参ください。
- ・個別に配慮等を希望される方は、12月24日までにお申し出ください。

和歌山大学教育学部附属特別支援学校

令和7年度研究発表会（ご案内）

自分の今を、そして将来を楽しみにできる子に
～レジリエンスとともに～

会場

和歌山大学教育学部附属特別支援学校

〒641-0031 和歌山県和歌山市西小二里2丁目5番18号

TEL 073-444-1080 FAX 073-447-2597

HP <https://www.pal.wakayama-u.ac.jp>

主催

和歌山大学教育学部附属特別支援学校

後援

和歌山県教育委員会 和歌山市教育委員会
和歌山県特別支援学級・通級指導教室設置校長会

要事前
申し込み

2026

1/31 土

10:10-16:10
(受付 9:40～)

ごあいさつ

今、私たちが生きる社会は、かつてないほどの速さで変化し続けています。情報があふれ、価値観が多様化する中で、子どもたちが安心して自分らしく過ごすことが、以前にも増して難しくなっています。そんな時代だからこそ、教育の力が問われています。子どもたちは、日々の生活の中で、時に不安や葛藤を抱えながらも、自分の世界を広げようと挑戦しています。その姿は、私たちに「支えるとは何か」「育てるとは何か」を改めて問いかけてくれます。

レジリエンス——それは、単なる「我慢」や「耐える力」ではなく、自分の感情を理解し、周囲とつながりながら、前向きに生きる力です。困難に直面したときに自分の気持ちを立て直し、しなやかに乗り越える力。そして、他者とのつながりの中で自分を見つめ直し、前向きに歩み続ける力です。この力は、子どもたちが未来に希望をもち、自分の人生を楽しみにできるようになるための、かけがえない力です。

本校の児童生徒も一人一人が異なる背景やニーズをもっています。しかし、どの子も今を大切にし、未来に希望をもてる存在であることに変わりはありません。私たちは、子どもたちの小さな一歩に寄り添い、共に喜び、時には悩みながら、教育の営みを積み重ねてきました。自己理解や自己肯定感の育成を軸に、個別の教育支援計画やアセスメントも活用しながら、子どもたちが自分らしく生きる力を育むための実践に取り組んでまいりました。

その取組の集大成として開催する本研究発表会では、教職員が日々の実践の中で得た気づきや工夫を共有し、子どもたちの「生きる力」を育む教育の在り方について、“今の自分を大切にし、将来を楽しみにできる”ような教育の姿を、共に考え、学び合えることを楽しみにしております。

和歌山大学教育学部附属特別支援学校長 植野博之



令和7年度研究発表会

令和8年 1月 31日(土)

自分の今を、そして将来を楽しみにできる子に
～レジリエンスとともに～

公開授業 10:50～11:40 (小学部のみ11:35終了)

小学部 場所：プレイルーム

対象 中学年(3・4年生)
授業 「生活」
単元名 劇遊び 「はしのうえのおかみ」
授業者 藪本 安有美 谷口 紗由美



中学部 場所：中学部1年生教室

対象 1年生
授業 キャリア
単元名 「いろいろな気持ちの立て直し方」
授業者 三木 理恵子 中尾 優綺



高等部① 場所：美術室

対象 高等部縦割りAグループ
授業 セルフデザイン
単元名 「強みを自信に、自分らしくチャレンジ」
授業者 入學 遼治 藪田 紬



高等部② 場所：会議室

対象 普通科総合産業コース2年生
授業 セルフデザイン
単元名 「レジリエンスに関する自分の強みを活用しよう」
授業者 中筋 千晶



教材ワークショップ等 12:20～12:50 場所：体育館

本校の取り組みや指導実践、教材・教具を展示いたします。特別支援教育にかかわる多方面の皆様と情報交換ができる場になればと考えております。

講演会 14:40～16:10 場所：体育館

岐部智恵子氏 桐蔭横浜大学 教授

演題 伸びやかに生き抜く力「レジリエンス」を自分ごとにする教育

分科会 13:00～14:30

01 小学部 場所：プレイルーム

レジリエンスを支える要因である環境的要因と獲得的要因に重点を置き、子どもの自己理解や他者心理への気づきを系統的に捉えて取り組んでいます。低学年では「自分や友だちの思いにふれる」、中学年では「自分の良さを感じ仲間と認めあう」、高学年では「自分の変化に気づき未来を描く」ことをねらい日々実践を積み重ねています。分科会では「自分も仲間もステキになりたい自分をえがこう～レジリエンスの土台づくり」をテーマに子どもが自分を知り、仲間と考えを交わしながら未来を楽しみにできる姿について協議していきたいと思っています。

提案者 西本 一史
司会者 小林 史
研究協力者 北岡 大輔(和歌山大学准教授)
助言者 植野 博之(和歌山大学教育学部附属特別支援学校 校長)



02 中学部 場所：ランチルーム

中学部では、安心できる環境や人間関係を基盤に、「レジリエンスを通した自己理解・他者理解」に取り組んでいます。気持ちを立て直した場面を振り返り、自分の強みや支えを見つめ直し、それを友だちと伝え合うことで、互いに理解を深め、困難に直面しても「大丈夫」と思える自分になることを目指しています。分科会では、「子どもたちが立ち直るための教師の支援・しかけ」について、公開授業の協議も交えながら、参加者の皆様とご一緒に考えていきます。

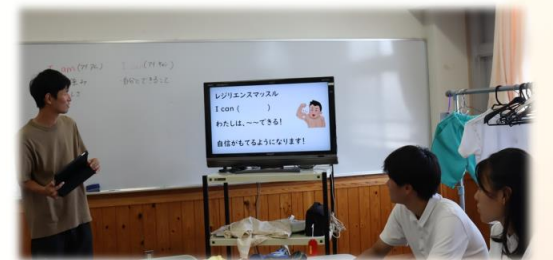
提案者 谷口 浩一
司会者 小栗 英男
研究協力者 竹澤 大史(和歌山大学教授)
助言者 林 修(和歌山大学名誉教授)



03 高等部① 場所：美術室

本グループでは、子どもたちが自分らしさを発揮し、前向きにチャレンジできるようになってほしいという思いで、実践に取り組んできました。「レジリエンスマッスル」の4つの筋肉(I am:自己肯定感・I have:自分を支えてくれる存在・I like:ポジティブ感情・I can:自己効力感)を基に、自己理解を深める授業を行っています。分科会では、これまでの実践の報告と公開授業を踏まえ、「自己効力感を高める取組について」というテーマで協議を行う予定です。

提案者 大植 祥子
司会者 井上 典子・児島 修梧
研究協力者 山崎 由可里(和歌山大学教授)
助言者 大城 秀夫(和歌山大学大学業務支援室 室長)



04 高等部② 場所：会議室

本グループは、地域の中学校を卒業し、本校高等部に入学してきた生徒が対象です。これまで生徒たちが自身のレジリエンスに関する強みを知り、それらを活用できるよう取り組んできました。分科会では、これまでの研究の成果を報告し、困難な場面や逆境に直面した状況で、本人たちが対応できるようになるための支援方法についてみなさまと共有したいと考えています。

提案者 滝元 あゆみ
司会者 向井 直樹・山本 憂以
研究協力者 古井 克憲(和歌山大学教授)
助言者 米田 良博(和歌山県教育委員会障害者職業生活相談支援員)

